

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

691-729

事務事業名	白山社奥社保存修理工事報告書刊行事業				財務会計上の位置付け	会計	1	款	10	項	5	目	3	細目	10	細々目	1	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目													
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり																	
施策	63 地域資産の保存継承																	
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条例等	文化財保護法 県文化財保護条例 飯田市文化財保護条例											
		事業期間	18	年度～	18		年度											

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	白山社奥社および保存修理工事の記録	指定文化財件数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			3		3		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	報告書刊行により修理工事記録ばかりでなく、重要文化財他に関する現状での情報が後世に記録として残される。加えてこれまで具体的な研究がなされていなかった扉絵の位置付けがなされる。	報告書刊行部数	18目標	800	最終目標	800	18
			18実績		19目標		↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
		報告書頁数	18目標	90	最終目標	90	18
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・重要文化財保存修理工事の報告書刊行 ・保存修理工事の内容およびこれまで具体的な研究がなされていなかった扉絵の位置付け等を行い、調査報告を行う。	修理工事報告書の内容については設計監理者が原稿執筆、扉絵に関しては美術史の研究者に原稿を依頼し、市で総括を行う。	発行部数	800
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	600	
	一般財源	740	
事業費計(A)	1,340	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度 200	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	715	0
	トータルコストA+B	2,055	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	保存・継承される(活かし続ける)	保存・継承されている地域資産の数(累計)	現状値	436	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	520
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 平成16・17年度実施の白山社奥社保存修理工事の際、文化庁調査官より報告書を作成するよう指導があった。	事業を取り巻く状況の変化 本体工事は終了している。平成17年度に扉絵が全国的に稀少な漆絵と判明した。	事業に対する市民や議会の意見 地区・所有者必要分についての印刷費負担は地区および所有者が了承している。
--	---	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 報告書刊行により、保存修理工事の過程と成果が誰でも恒久的に目に見える形になる。また扉絵の位置付けがなされることにより、地域の財産を資産化する契機となる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) 既に実施済の事業の報告書であり、成果を向上させる余地はない。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 指定文化財そのものの修理工事記録である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 保存修理工事について、情報の共有ができない。また扉絵の位置付けがなされず、財産を資産化する機会を失う。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 修理工事の記録であり、報告書そのものが後世に伝えられるべき文化財的側面をもつ。文化庁の指導である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 国・市指定文化財の保存修理工事の記録であり、且つ国・県・市で補助金・支援金を交付している。文化財保護法等で関与が定められている。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 可能 (その理由) 印刷費であり、入稿の方法や入札により削減は不可能。
	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) 印刷費であり、入稿の方法や入札により削減は不可能。	効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) 印刷費であり、入稿の方法や入札により削減は不可能。
	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は市民および国民である。地区および所有者必要分の負担は妥当である。	公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は市民および国民である。地区および所有者必要分の負担は妥当である。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 18 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	